

令和5年度事業報告書

〔 令和5年4月1日から
令和6年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

令和5年度事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町村の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、2019年度から2023年度までの5年間を期間とする「公益財団法人神奈川県下水道公社第6期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めるとともに、経費の削減に取り組みました。

2 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

(1) 主な維持管理施設等の概要

4箇所の下水処理場、9箇所のポンプ場、幹線管渠及び上部利用施設等の維持管理を行いました。

<主な下水道維持管理施設等>

(令和6年3月31日現在)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳島	酒匂	扇町
敷地面積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水処理施設 (施設能力 日最大)	6系列 (306,150m ³ /日)	9系列 (531,700m ³ /日)	3系列 (105,648m ³ /日)	2系列 (55,120m ³ /日)
汚泥脱水設備	遠心 2台 スクリーン 2台	遠心 3台 ロータリー 1台 スクリーン 3台	スクリーン 4台	ベルト 2台 スクリーン 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t/日)	4基 (660 t/日)	1基 (60 t/日)	2基 (60 t/日)
幹線管渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340m

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
ポンプ場	2箇所	6箇所	1箇所	—
上部利用施設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 2.1 ha	扇町しらすぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「遠 心」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機
- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機

(2) 下水処理

流入下水の処理にあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

ア 流入下水量

流 域	下水処理場 (水再生センター)	流入下水量 (m ³ /年)		増減 (前年比%)
		令和5年度	令和4年度	
相模川	四之宮	83,083,660 (227,000)	81,691,050 (223,810)	1,392,610 (101.7%)
	柳 島	147,550,680 (403,140)	148,305,310 (406,320)	△754,630 (99.5%)
	計	230,634,340 (630,140)	229,996,360 (630,130)	637,980 (100.3%)
酒匂川	酒 匂	26,926,110 (73,570)	28,066,260 (76,890)	△1,140,150 (95.9%)
	扇 町	15,060,190 (41,150)	15,492,010 (42,440)	△431,820 (97.2%)
	計	41,986,300 (114,720)	43,558,270 (119,330)	△1,571,970 (96.4%)
合 計		272,620,640 (744,860)	273,554,630 (749,460)	△933,990 (99.7%)

(注) ・流入下水量は年間の数量で、()内の数字は日平均水量を示す。

・酒匂川流域は、左右岸の相互運用後の数値を示す (酒匂から扇町へ 1,251,480m³送水)

イ 流入水及び放流水の水質測定結果

(ア) 相模川流域下水道水質測定結果

主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	170	2.8	210	2.5	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	250	5.8	280	4.8	
	最小	100	1.5	150	1.7	
COD (mg/L)	平均	92	8.5	120	9.2	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	130	11	140	11	
	最小	58	6.6	88	7.2	
SS (mg/L)	平均	186	2.1	227	2.7	70 (50)
	最大	282	5.4	318	4.4	
	最小	122	1.0 未満	140	1.0 未満	
pH	平均	7.1	6.5	7.4	6.6	5.8~8.6
	最大	7.4	6.8	7.7	6.9	
	最小	6.7	6.2	7.0	6.2	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	200,000	28	420,000	130	3,000
	最大	640,000	100	1,100,000	460	
	最小	44,000	1 未満	90,000	27	

(注)・BOD は生物化学的酸素要求量、COD は化学的酸素要求量、SS は浮遊物質量、pH は水素イオン濃度 (水素指数) を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、() は日間平均値 (1 日の平均の値) を示す。

(イ) 酒匂川流域下水道水質測定結果

主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	150	1.4	170	3.3	25 (20)
	最大	200	3.0	270	5.3	
	最小	100	1.0 未満	130	1.7	
COD (mg/L)	平均	84	6.8	97	11	25
	最大	120	8.4	150	15	
	最小	58	5.6	65	7.8	
SS (mg/L)	平均	158	1.0 未満	146	2.2	70 (50)
	最大	218	1.6	204	5.0	
	最小	110	1.0 未満	84	1.0 未満	
pH	平均	7.5	6.5	7.3	6.7	5.8~8.6
	最大	7.9	6.8	8.2	7.0	
	最小	7.0	6.3	6.9	6.4	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	130,000	15	480,000	230	3,000
	最大	190,000	92	1,100,000	1,200	
	最小	80,000	1 未満	170,000	4	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ。

(3) 汚泥処理

発生した汚泥等は原則焼却し、焼却灰等は全量資源として有効利用しました。

ア 汚泥等発生量

流域	下水処理場 (水再生センター)	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和5年度	令和4年度	
相模川	四之宮	56,343	57,078	△735 (98.7%)
	柳島	128,614	126,393	2,221 (101.8%)
	計	184,957	183,471	1,486 (100.8%)
酒匂川	酒匂	19,281	19,365	△84 (99.6%)
	扇町	8,710	8,696	14 (100.2%)
	計	27,991	28,061	△70 (99.8%)
合計		212,948	211,532	1,416 (100.7%)

(注)・汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

イ 焼却灰等処分量

流域	下水処理場 (水再生センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和5年度	令和4年度	
相模川	四之宮	1,394	1,504	△110 (92.7%)
	柳島	2,428	2,901	△473 (83.7%)
	計	3,822	4,405	△583 (86.8%)
酒匂川	酒匂	1,511	2,062	△551 (73.3%)
	扇町	170	213	△43 (79.8%)
	計	1,681	2,275	△594 (73.9%)
合計		5,503	6,680	△1,177 (82.4%)

(注)・焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

(4) 流入水質の維持確保に向けた支援

流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査、水質異常時の原因究明調査及び水質規制に関する相談・提案などの技術支援（アシスト下水道）を行いました。

また、特定事業場等の監視・指導業務を行う流域関連市町の担当者及び排水基準を守るための水質管理を行う事業場の担当者を対象に研修会を実施しました。

なお、研修会の開催にあたっては、対面方式とオンライン方式を併用して実施しました。

ア 水質規制技術支援業務（アシスト下水道）

＜技術支援業務実施状況＞ (件)

流域	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	6 (10)	5 (1)	50 (39)	23 (24)	84 (74)
酒匂川	1 (1)	1 (2)	34 (38)	9 (13)	45 (54)
合計	7 (11)	6 (3)	84 (77)	32 (37)	129 (128)

(注) () は、前年度の実績

イ 研修会の開催

(ア) 水質規制業務内容に係る研修会

＜研修会実施状況＞

開催年月日	令和5年5月10日
開催場所	四之宮水再生センター（対面及びオンラインの併用）
対象者	流域関連市町の水質規制担当新任職員
受講者数	23名
内容	(1) 水質規制業務の概要について (2) 水質異常等の対応、特定事業場台帳の利活用について

(イ) 水質規制担当者特別研修会

＜研修会実施状況＞

開催年月日	令和5年11月29日、12月1日 (2日間、3グループに分けて分散開催)
開催場所	四之宮水再生センター
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	17名
内容	(1) 「水質管理の基礎」から「下水処理場における水質異常時の対応」等、経験年数に応じた講義及び水質実習 (2) 小グループによる水質規制に関するディスカッション

(ウ) 事業場排水担当者研修会

<研修会実施状況>

開催年月日	令和5年12月6日
開催場所	四之宮水再生センター（対面及びオンラインの併用）
対象者	流域関連市町の事業場排水処理担当者
受講者数	161名
内容	(1) 下水道法の概要について (2) 下水処理場での処理の限界について

ウ パンフレットの作成及び配布

公共下水道を使用する場合の排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、分かりやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事業者の皆様にご利用いただけるよう、事業者と流域関連市町に配布しました。

(5) 老朽化対策

定期的な健全度診断や調査結果に基づき、設備機器や幹線管渠について、適正な管理を行いました。

(6) 設備機器の点検・補修等

精密点検基準等に基づき、設備機器について計画的に修繕を行いました。
また、日常点検等により状態を把握し、適切に補修を行いました。

(7) 危機管理対応

「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づき訓練を実施しました。
また、BCP以外にも防災訓練や水質異常時初期対応訓練を実施し、危機管理体制の充実を図りました。

<BCPに基づく訓練結果>

訓練名	訓練回数	実施年月日	主な訓練内容
震災訓練	3回	令和5年9月5日	勤務時間外訓練
		令和6年1月16日	勤務時間内訓練
		令和6年2月 処理場ごと	設備操作訓練
水防体制訓練	1回	令和5年4月 処理場ごと	水防対応の内容確認
新型インフルエンザ 等感染症対応訓練	2回	令和6年1月24日	業務継続体制等の確認
		令和6年1月29日	情報伝達等の訓練

＜BCP 以外の訓練結果＞

訓練名	訓練回数	実施年月日	主な訓練内容
防災訓練	2回	令和5年4月 処理場ごと	自衛防災の役割確認
		令和5年11月 処理場ごと	総合的な防災訓練
水質異常時初期対応訓練	1回	令和5年4月 処理場ごと	排出先特定作業（幹線調査） 及び種汚泥確保作業

(8) 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査等を行い、環境保護に努めました。

ア 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

イ 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

＜敷地境界等臭気測定調査結果＞

流域	下水処理場 (水再生センター)	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	5地点	10未満	15
	柳島	6地点	10未満	15
酒匂川	酒匂	4地点	10未満	15
	扇町	4地点	10未満	15

(注) 臭気指数の「10未満」は定量下限値未満を表す。

ウ クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や処理場敷地境界線の放射線量を測定し、異常がないことを確認しました。

(9) 施設見学

小学校や自治会、地域の方々などを対象に、施設見学を随時受け付け、施設の案内や下水道の役割などの説明を行いました。

<処理場施設見学者内訳>

(人)

流域	下水処理場 (水再生センター)	行政機関	学生		一般	団体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	87 (71)	253 (227)	0 (24)	42 (42)	10 (0)	392 (364)
	柳島	90 (0)	834 (284)	203 (152)	46 (45)	90 (77)	1,263 (558)
酒匂川	酒匂	45 (4)	232 (178)	0 (34)	31 (35)	0 (0)	308 (251)
	扇町	5 (0)	317 (61)	0 (4)	1 (101)	3 (28)	326 (194)
合計		227 (75)	1,636 (750)	203 (214)	120 (223)	103 (105)	2,289 (1,367)

(注) () は、前年度の実績

(10) 下水道ふれあいまつり

処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき、親しまれる下水道となるよう「下水道ふれあいまつり」を5年ぶりに開催しました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	令和5年10月21日(土)	
共催・協力	共催 神奈川県、下水道公社 協力 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 四之宮水再生センター(四之宮ふれあい広場)	780人
	酒匂川流域 扇町水再生センター(扇町しらさぎ広場)	975人
計		1,755人

3 流域下水道の下水処理等維持管理業務と一体となって実施する改築業務

施設の定期的な分解点検や修繕工事の実施に合わせて、老朽化が進んだ設備について、設備の更新を実施することで、設備の停止期間の短縮や更新工事経費の削減を図り、効率的で安定した運転管理を行いました。

＜令和5年度の対象工事（1件）＞

件名	工事内容
柳島水再生センター 汚水ポンプ用電動機修理工事	低段6号汚水ポンプ用電動機の工場整備（コイル巻替え）、始動制御器の交換

4 市町村支援事業

（1）下水道の水質分析等受託

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

＜特定事業場等水質調査業務受託概要＞

区分 年度 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	5	4	増減	5	4	増減	5	4	増減
相模川流域 関連市町	7	7	0	115	112	3	5,540	6,173	△633
酒匂川流域 関連市町	8	7	1	50	48	2	2,664	3,058	△394
計	15	14	1	165	160	5	8,204	9,231	△1,027

（2）下水道施設を維持管理するための技術的支援

令和5年4月から箱根町の二つの処理場（宮城野浄水センター及び仙石原浄水センター）の水質管理履行確認業務を受託し、職員が月1回の頻度で両浄水センターに出向き、水質関係の報告書の精査や処理場の運転管理上の問題点に対する改善案の提言を行うなど、水質管理に関する履行確認を行いました。

5 下水道知識普及啓発事業及び下水道担当職員研修事業

（1）下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象に作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募された作品の中から入賞者を表彰するとともに、入賞作品の広報への活用を行いました。

<下水道作品コンクール表彰式>

- ・開催日 : 令和6年2月17日(土)
- ・開催場所 : 小田原三の丸ホール

<作品応募・入賞数>

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	71 (79)	587 (502)	2,798 (2,650)	3,456 (3,231)	参加学校数: 151 (149) 参加市町数: 21 (21)
入賞数	10	20	40	70	

(注) () は、前年度の実績

(2) 下水道教室の実施

ア 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。また、オンラインによる教室も活用し、一層のPRに努めました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
50校 (56校)	125クラス (131クラス)	3,718人 (4,047人)

(注) () は、前年度の実績

イ 夏休み下水道教室

県内在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを8回実施しました。また、多くの方が多様な形で参加し易いようにオンラインによる教室も1回実施しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	開催場所	実施日	参加者数	
相模川	四之宮水再生センター	令和5年8月10日(木)	AM	43人 (30)
			PM	39人 (35)
	柳島水再生センター	令和5年8月3日(木)	AM	32人 (27)
			PM	32人 (18)

流域	開催場所	実施日		参加者数
酒匂川	酒匂水再生センター	令和5年7月28日(金)	AM	42人 (24)
			PM	24人 (26)
	扇町水再生センター	令和5年7月25日(火)	AM	39人 (22)
			PM	37人 (21)
オンライン	四之宮水再生センターから配信	令和5年8月15日(火)	AM	21人 (-)
計				309人 (203)

(注)・() は、前年度の実績

・前年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により人数制限を行った。

ウ 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々を対象に、下水道について学び体験を行う講座を募集しましたが、令和5年度は申し込みはありませんでした。

(3) 市町村主催の環境イベント等への参加

流域関連市町が主催する環境に関するイベント等に参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割についてPRしました。

また、公社出展ブースの来場者拡大を図り、イベント来場者に下水道に興味を持っていただけるようPR動画を作成し連続放映しました。

<市町環境等イベント参加結果>

市 町	イベント名	参加日	公社ブース 来場者数
伊勢原市	第20回いせはら環境展	5月13日	280人 (-)
海老名市	令和5年度環境展	6月1～19日	展示のみ (-)
南足柄市	第27回南足柄市環境フェア	6月21～23日	展示のみ (-)
		6月24日	106人 (-)
相模原市	第19回さがみはら環境まつり	6月25日	593人 (383)
平塚市	ひらつか環境フェア2023	7月22日	237人 (105)

市 町	イベント名	参加日	公社ブース 来場者数
中井町	美・緑なかいフェスティバル 2023	10月15日	153人 (249)
厚木市	2023 あつぎ環境フェア	10月22日	234人 (-)
藤沢市	ふじさわ下水道フェア 2023	10月29日	357人 (296)
秦野市	第44回秦野市市民の日	11月3日	425人 (-)
茅ヶ崎市	ちがさき環境フェア 2023	11月12日	199人 (197)
大井町	第12回大井町環境展	11月12日	146人 (126)
寒川町	第39回寒川町産業まつり	11月19日	760人 (555)
二宮町	第25回 湘南にのみやふるさとまつり	11月19日	269人 (-)
綾瀬市	あやせ環境展	11月26日	121人 (133)
松田町	第24回まつだ産業まつり	11月26日	479人 (570)
大井町	第64回大井町産業まつり	1月21日	125人 (-)
小田原市	おだわら下水道桜まつり	3月23日	114人 (-)
合計 (16市町)			4598人 (2,748)

(注) () は、前年度の実績

(4) 春休み水再生センター見学会

夏の「夏休み下水道教室」、秋の「下水道ふれあいまつり」に続いて、県内在住の方を対象として、春休み期間中に下水処理場の施設見学会を実施しました。

<春休み水再生センター見学会実施結果>

開催場所	実施日	参加者数
四之宮水再生センター	令和6年3月26日(火)	32人 (4)

(注) () は、前年度の実績

(5) ホームページによる情報発信

公社の維持管理業務の概要、汚れた水をきれいにする下水道の仕組み、地域の方々に利用していただける広場やイベント情報など様々な情報を発信しました。

(6) 下水道担当職員研修事業

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、次の研修会を実施しました。

なお、研修会の一般コース開催にあたっては、オンライン方式と対面方式を併用した「ハイブリッド方式」で開催しました。

<下水道担当職員研修会実施状況>

研修会 コース名	開催年月日	対象者 (受講者数)	内 容
一 般	令和5年5月30日(火)	主に経験5年未満の職員 (47人)	(ハイブリッド(対面+オンライン)) ・下水道の概説と下水道法の概要 ・下水処理場の仕組みと管理
専門技術	令和5年12月13日(水)	主に経験5年以上の職員 (14人)	(対面) ・柳島水再生センター概要・現場視察概要の説明 ・現場視察(2箇所)
管 理 者	令和5年8月31日(木)	主に幹部職員 (31人)	(オンライン) ・下水道界の最近の話題 ・公社調査研究発表(2件)

6 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、維持管理上の技術的な課題やコストの削減などについて調査研究を行いました。

また、研究成果は、日々の維持管理に反映させるとともに、調査研究報告書にまとめました。

(1) 調査研究実施概要

次の4項目について調査研究を行いました。

ア 普及啓発業務における新たな取組みについて

実施所属	企画課
目的	前年度の調査研究として把握したコロナ禍における小学校等利用者のニーズに対応するため、夏休み下水道教室におけるオンライン開催や下水道担当職員研修会のオンデマンド開催について検討を行います。
結果	<p>普及啓発業務として以下の3件について新たな手法を検討し、取組を行いました。</p> <p>(1) 夏休み下水道教室 対面方式の開催に加え、「オンライン方式」での開催を追加した結果、参加者からは、「微生物の観察動画を観ることができ大変満足した。」や「普段見ることのできない施設を楽しく分かりやすく見られた。」などの意見があり好評でした。</p> <p>(2) 下水道担当職員研修会 要望のあったオンデマンド配信動画を準備しましたが、パソコンのスペック不足により動画編集に支障が生じたことから、令和5年度は配信動画の編集方法を見直し動画の作成のみを行い、次年度にオンデマンド配信を行うこととしました。</p> <p>(3) 市町村主催の環境等に関するイベント イベント専用の微生物の紹介を中心としたPRショート動画を作成し、公社ブースで連続再生したところ、汚れた水が微生物により綺麗になる様子を多くの来場者が興味深く視聴されていました。</p> <p>公社では、その他多くの普及啓発業務に取り組んでいます。今後も参加者等の要望を反映しながら創意工夫を図り、普及啓発業務に努めていきたいと考えています。</p>

イ 水質試験におけるヘリウムガス使用量の削減に関する検討

実施所属	水質課
目的	法規制項目の水質試験において、希少資源のヘリウムガスを使用していますが、世界規模で調達懸念が高まっているため、試験値の精度を維持しつつ、分析装置の運用方法を見直すことでヘリウムガスの使用量が削減可能か検討します。
結果	<p>検討にあたっては、新たに導入したGC-MS(ガスクロマトグラフィー質量分析計)の精度(信頼性)を確認するため、装置定量下限値及び変動係数を算出し、定量可能範囲の確認について評価を行い、併せて、VOC(揮発性有機化合物:13項目)と農薬(2項目)の測定項目別に、これまで使用していたGC-MSとの比較検証を行いました。</p> <p>検証の結果、従来はVOCと農薬の試験に2台のGC-MSを使用する必要がありましたが、新たに導入したGC-MS1台でVOCと農薬の測定値の精度が確保でき、なおかつ分析時間も短縮できることから、このGC-MS1台で効率的な分析装置の運用ができることが確認できました。</p> <p>このことにより、希少資源であるヘリウムガスの使用量を大幅に削減することが可能となりました。</p>

ウ 扇町水再生センターにおける大腸菌調査

実施所属	扇町水再生センター
目的	<p>扇町水再生センターは、流入水の大腸菌群数が、まれに通常に比べ異常に高く検出されることがあり、放流水を管理することが難しくなっています。</p> <p>大腸菌群数は、大腸菌以外に自然由来の細菌も検出されることもあり、異常な大腸菌群数の原因を把握できていません。</p> <p>令和4年4月、環境基準が大腸菌群数から大腸菌に変更され、放流水の法基準も大腸菌群数から大腸菌数へ変更されることが予想されます。</p> <p>そこで、大腸菌群数と大腸菌数の相関性を把握するとともに、適正な薬品注入のための基礎データを取得します。</p>
結果	<p>調査は、大腸菌調査と処理水の消毒に用いる次亜塩素酸ナトリウム溶液(以下、「次亜」という)の注入試験を実施しました。</p> <p>大腸菌調査については、水処理中試験項目に大腸菌数測定を追加し、大腸菌群数との関係を調べましたが相関は見られず、特に、調査期間中、流入水の大腸菌群数が通常より上昇する異常がありましたが、この間も大腸菌は通常レベルの値であったことから、他の細菌に影響を受けることなく、安定的に管理できることが確認できました。</p> <p>また、次亜の注入試験においては、最終沈殿池越流水(以下、「終沈越流水」という)に次亜の注入率を段階的に設定し、大腸菌、残留塩素の関係を調べた結果、今回の調査では終沈越流水の大腸菌数が少ないことから、現有設備最低量の注入率でも排水基準を遵守できると考えられます。</p> <p>今回得た基礎データをもとに、今後も大腸菌数の推移を把握しながら適正な注入率を心がけ安定した運転管理につなげていきたいと思えます。</p>

エ 汚泥処理施設の電気室における腐食性ガス対策について

本調査研究につきましては、令和6年度も継続して行います。

(2) 研究報告

調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

<調査研究報告書> *電子データとして作成

名 称	令和4年度 調査研究報告書 (第41号)
掲 載 内 容	<p>① 普及啓発業務における新たな取組み等について</p> <p>② 酒匂川流域下水道における製造業又はガス供給業に係る排水規制の緩和による影響について</p>

<法人の運営状況>

1 職員の状況

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	構成職員数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
事務局長	小柴義隆	1					1
総務部長	(小柴義隆)						
業務部長	西村佳裕				1		1
総務課長	糸満茂人	9					9
企画課長	伊藤幹生	2				2	4
業務課長	渡部宏則		1	2	1		4
水質課長	青山光男					9	9
四之宮水再生センター所長	五十嵐雄大		1	3	5	4	13
柳島水再生センター所長	和田安雄		1	5	5	3	14
酒匂水再生センター所長	星野郁夫		1	3	2	2	8
扇町水再生センター所長	下野俊二			2	1	3	6
合計		12	4	15	15	23	69

(注) () は兼務職員。構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(令和6年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	計
理事長	1	—	1
常務理事	2	—	2
理事	—	6	6
監事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(令和6年3月31日現在)

役職名	常勤	非常勤	計
評議員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
理事長	筒浦浩久	常勤	
常務理事	川島由美子	〃	
常務理事	峯村徹哉	〃	
理事	笹生典寿	非常勤	厚木市 都市整備部長
〃	梶元興	〃	南足柄市 都市部長
〃	畠山学	〃	寒川町 都市建設部長
〃	由井要	〃	大磯町 都市建設部 参事(下水道担当)兼下水道課長
〃	須藤肇	〃	中井町 環境上下水道課長
〃	澁谷好人	〃	松田町 環境上下水道課長
監事	古谷昭仁	非常勤	秦野市 上下水道局 参事(兼)経営総務課長
〃	猪鼻久義	〃	公認会計士・税理士

工 評議員一覧表

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	小林久司	非常勤	産業能率大学 非常勤教授
〃	伊興亨	〃	文京学院大学 保健医療技術学部 非常勤講師
〃	渡邊建太郎	〃	相模原市 都市建設局 土木部長
〃	田中信行	〃	平塚市 土木部長
〃	西浦真生	〃	小田原市 上下水道局長
〃	高田正浩	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	加藤康介	〃	神奈川県 湘南地域県政総合センター副所長(兼)総務部長
〃	高木英典	〃	神奈川県 県西地域県政総合センター副所長(兼)総務部長
〃	飯塚健	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

- 日 時 : 令和5年6月8日(木)
- 場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社(平塚市)
- 出席者数 : 理事6人 監事1人
- 議 事 : (第1号議案) 令和4年度事業報告書及び決算報告書
(第2号議案) 評議員会の招集の件
- 報告事項 : (1) 令和4年度第3回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告
(2) 専決処分事項の報告(規程の一部改正)
(3) 第6期経営改善計画 2022年度実績状況報告書

<第2回理事会>

- 日 時 : 令和5年6月23日(金)
- 場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社(平塚市)
- 出席者数 : 理事8人 監事1人
- 議 事 : (第1号議案) 理事長及び常務理事の選定の件
(第2号議案) 事務局長の選任の件

<第3回理事会>

- 日 時 : 令和6年3月25日(月)
- 場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社(平塚市)
- 出席者数 : 理事6人 監事2人
- 議 事 : (第1号議案) 令和6年度事業計画書
(第2号議案) 令和6年度収支予算書
(第3号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社役員等職務権限規程の一部を改正する規程
- 報告事項 : (1) 令和5年度第1回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告
(2) 専決処分事項の報告(令和5年度収支補正予算書、規程の一部改正)
(3) 第7期経営改善計画

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人
神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

- (第1号議案) 令和4年度計算書類の承認の件
- (第2号議案) 任期満了に伴う評議員の選任の件
- (第3号議案) 理事の選任の件
- (第4号議案) 監事の選任の件

報告事項

- (1) 令和4年度事業報告書
- (2) 令和4年度収支補正予算書
- (3) 令和5年度事業計画書及び収支予算書
- (4) 第6期経営改善計画 2022年度実績状況報告書

評議員会の決議及び評議員会への報告があったものとみなされた日

令和5年6月23日(金)

5 情報公開

当社は、四之宮水再生センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・資金調達及び設備投資の見込みについて
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。

